

令和7年2月1日号

まちなみ通信 No.69

～ 伝統建築技術伝承活動の紹介 ～



伝建制度50周年記念事業
「伝建スタンプリ」

廿日市市宮島町のスタンプ

－ 伝統建築技術の伝承 －

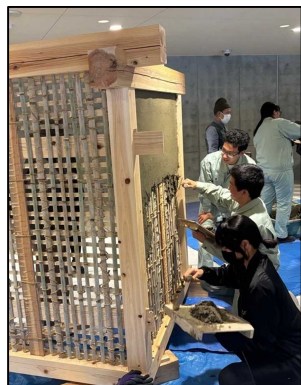
昨年11月、伝統工法の土壁塗り(左官)体験会が伝建宮島工務店の会主催で開催されました。

この体験会は、現在の住宅では採用されることが少なくなった伝統建築技術を後世に伝承する活動の一環として開催されたものです。

今回は、左官職人を講師としてお招きし、高校生約10名、伝建宮島工務店の会約10名、見学者約20名が参加されました。講師で参加された北川 鈴眞(きたがわ れま)さんは、県立宮島工業高等学校を卒業し、左官の修行中であり若くして左官にチャレンジされています。



土を塗るお手本を
見せる北川さん



土塗り体験をする
高校生

まず、北川さん中心にお手本を披露して彼女の指導のもと、高校生らが実際に竹小舞を組んだり土を塗ったりし、土壁を完成させる体験を行いました。参加された方は、北川さんのスピード感ある見事な手さばきに感心するとともに、土壁を一から作る難しさを実感していました。

体験した方は「土壁は見たことあるが、竹を割り、竹を組み、土を塗るという一連の工程は実際に見たことがなかった。素晴らしい技術。」と言われていました。

伝統建築技術は、丁寧な職人技あってこそ、美しい仕上がりとなります。



体験会に参加された伝建宮島工務店の会と高校生の皆さん
皆さんの建物でも土壁などの伝統建築技術
の活用を検討してみてください。

－ 防災講演会の開催－

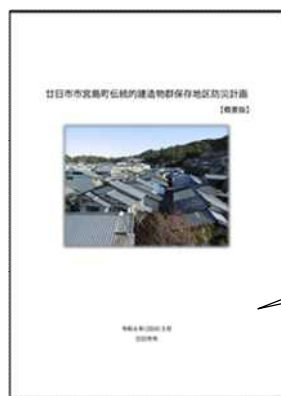
防災に関する情報提供や学習機会とする講演会を実施します。先月だけでも建物・森林火災や宮崎県東部沖合で発生した地震など各地で様々な災害が多く発生しています。いつ発生するか分からない災害に備えるのため防災に関する意識・知識の向上、行政と地域住民等が連携して防災訓練を実施することが大切です。

日程：令和7年2月4日(火) 18:00～19:30

場所：etto 宮島交流館 2階ホール

講師：工学院大学 総合研究所

後藤 治 教授



配布した概要版を
ご一読ください！

～ 伝統的建造物の紹介 No.4 《亀井家》～

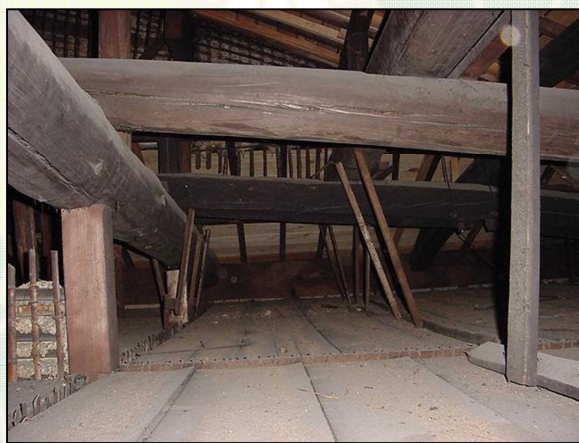
この建物は、浜之町の町家通り入口の角地に立地し、宮島町家としては珍しく2つの道路に面していることから、平入および妻入である入母屋造の2階建棧瓦葺として、20世紀前半に建てられたと推定される町家である。

1階部分は、かつて店舗（酒店）として使用されていたが、現在は外部・内部共に大きく改変されており、建築当時の状況は残されていない。

2階の通りに面する部分には手摺がめぐらされており、特徴のある昔ながらの外観を残している。2階の内部はあまり改変されておらず、当時の状況を残しているが、大きな部屋が並び、各室の作りもよいので、元は旅館などとするための建物であったと思われる。小屋裏をみると転用材が多く使われている点も宮島町家の特徴である。



亀井家外観



小屋組

伝建制度創設 50 周年記念事業 「伝建デジタル de スタンプラリー」の開催について

伝建地区制度創設 50 周年を記念して、デジタルスタンプラリーが全国の伝建地区 129 か所で開催中です。各地の伝建地区に多くの人に来訪してもらい、周遊促進などを目的としています。

「廿日市市宮島町伝建地区」もスタンプラリー事業の舞台の1つとなっており、宮島歴史民俗資料館を中心に半径 500m の範囲でスタンプが獲得できます。全国の伝建地区で 5 個以上スタンプを集めると B 賞、10 個以上で A 賞に応募できます。ぜひ以下の QR コードから参加登録していただき、全国の伝建地区を巡りデジタルスタンプを集めてみてください！



[参加登録用 URL](#)

宮島で所有されている建物について、お困りごとはありませんか？

宮島に建物をお持ちの方で、何かお困りごとがあれば、ぜひご相談ください。

皆さんのお役に立てるよう、問題解決に向けて一緒に考えます。 ※もちろん秘密厳守です。

まちなみ通信 No.69（令和 7 年 2 月 1 日）発行

廿日市市 経営企画部 宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 TEL(0829)30-9119 FAX(0829)32-1059